

## 大学入試 2 次試験対策

英 語 科  
近藤栄作

英文和訳の問題です。

This tendency to regard as natural that with which we are familiar is brought out very clearly in certain animal studies.

- \* tendency シスタン 21 「傾向」
- \* regard A as B シスタン 27 「A を B だと思う」
- \* 人 be familiar with もの  
シスタン 467 「人がものをよく知っている」
- \* be brought out (熟語) 「表れている」  
副詞つきイディオムは副詞の意味が大切！
- \* in certain animal studies 「ある種の動物の研究に」  
ポイント  
that の意味合い → something の意味がある！

we are familiar with that  
regard that as natural

関係代名詞には注意が必要

この見慣れたものを自然なことだととらえる傾向は、ある種の動物の研究にはっきりと表れている

英作文の問題です。

昨日靴を買うときに、店員が足を計ったら、一方がもう一方より大きかった。左右の足によって働きに差は出ないので、なぜだろうと不思議に思った。

- \* 店員が足を計った : the man measured my feet
- \* なぜだろうと不思議に思った : I wondered why this should be
- \* 左右の足によって働きに差は出ない : 「一方の足がする仕事量」 = 「別の足がする仕事量」  
ポイント  
Bill can no more swim than a hammer can. ビルの泳ぎはかなづち並みだ。構文 7 9  
no more だから否定というわけではない！「差がゼロ」「プラスアルファゼロ」  
since one foot does no more work  
than the other does much work. 「一方の足がする仕事量」 = 「もう片方の足がする仕事量」

Yesterday, when I bought shoes and the man measured my feet, one foot was larger than the other. I wondered why this should be, since one foot does no more work than the other.

興志館講座、次回は 7 月 7 日 (火)